

OICグループ、シイタケ生産事業を譲受

多様なキノコ栽培とグループ連携で、持続可能な食の仕組みを構築へ



「食生活♥♥（ラブラブ）ロピア」を中心に、食品総合流通業を展開する株式会社 OIC（オイシー）グループ（以下、OICグループ）は、2025年6月30日、キノコの生産・製造を行う新設グループ企業「キノラボ」を通じて、キノコの種菌開発や生産者支援を手がける株式会社北研（以下、北研）が運営する馬頭工場のシイタケ生産事業を譲り受けました。

OICグループは、経営理念「おいしいは、人が生きる力」のもと、食の機能的価値だけでなく、情緒的・社会的価値の創出にも注力し、「おいしい」「たのしい」「うれしい」体験を通じた「食のテーマパーク」の実現を目指しています。北研は1961年の創業以来、シイタケ種菌の研究・製造を手がけ、日本各地の菌床栽培農家を支えてきました。両社は今回の取り組みを「国産キノコ産業の持続可能性を支え、食文化を次世代へとつなぐ事業」と位置付け、今後も共同で事業を展開します。キノラボにおいては、生産者や消費者の多様なキノコのニーズに応える商品開発、生産・製造を行ってまいります。

今後もOICグループは、キノラボの事業と、グループの流通・小売・外食事業を組み合わせた商品開発や地域農業との連携を進めていくとともに、キノコ栽培を起点にした1次産業の持続的な生産と供給の仕組みづくりを目指します。

シイタケ種菌開発や生産を行う、北研・馬頭工場のシイタケ生産事業をキノラボが譲受

食品の生産から製造・流通・小売・外食までを一貫して手がける「食品総合流通業」を展開するOICグループは、2025年6月30日、キノコの生産と販売を担うグループ企業の株式会社キノラボを通じて、株式会社北研が運営する馬頭工場（栃木県那珂川町）のシイタケ生産事業を譲受しました。

北研は1961年の創業以来、多様なシイタケの種菌研究・製造で全国1500件以上の菌床栽培農家を支えており、馬頭工場はその主要生産拠点の一つとして、菌床製造とシイタケ生産を手掛けてきました。今回の馬頭工場の事業譲渡は、OICグループと北研の「おいしくて安全な“食”の提供を通じて、生産者と消費者をつなげ、食文化を次世代につなぎたい」という思いが一致し、実現しました。

キノラボは国内シイタケ農家向けの種菌シェア約50%を誇る北研のきのこ栽培ノウハウを継承し、シイタケを始めとした多様なキノコの開発、生産・製造に取り組みます。併せて、北研の種菌を使っている生産者との連携も推進し、OICグループ内の連携も見据えながらキノコの生産・流通体制を強化していきます。

本取り組みにより、栄養価が高く、旨み成分が豊富なシイタケを安定供給し、より手に取りやすい価格で食卓に提供することを目指します。

グループ連携で広がるキノコの可能性。食品販売・外食との相乗効果で「食のテーマパーク」を実現

今回のキノラボへのシイタケ生産事業の譲受により、天候不順や環境変化に左右されにくいキノコの栽培体制を構築するのみならず、OICグループが持つ製造・流通・外食などの各事業との連携を強化し、キノコの新たな活用の可能性を広げ、「食のテーマパーク」の実現につなげていきます。

具体的には、ロピアやスーパーバリューを通じた直販に加え、外食部門eatopiaホールディングスにおけるラーメンのメニュー展開、飲食店や惣菜でのシイタケの出汁の活用なども視野に入れ、グループ内でのコラボレーションを推進していきます。

OICグループでは、すでに食品製造過程で発生する鶏ガラやモミジ、野菜の皮や芯といった端材を有効活用した商品の開発も進んでおり、今後は食品ロス削減や循環型商品づくりにも挑戦していきます。

生産者の持続可能な農業支援、海外展開を目指すOICグループ

OICグループは、今回のキノラボの事業譲受、北研および北研の種菌を使った生産者との連

携を通じて、キノコ栽培を起点とした持続可能な1次産業の推進にも取り組みます。

菌床によるシイタケ栽培は、省スペースかつ低コストで始められ、地域や年齢、障がいの有無を問わず多様な人々が関わるができる農業です。また、使用済みの菌床は堆肥として林地に再利用でき、山林の保水力回復や土壌改良を通じて、森林・河川・海の環境保全にも貢献します。こうしたキノコや山菜などの特産林産物の振興は国としても重視しており、持続可能な資源循環の一端を担う取り組みです。

OICグループは、北研との連携のもと、日本国内のキノコ農家の安定した収入確保に向け、販路を拡大し、地域農業の収益性を高め、就労の機会を広げる仕組みづくりにも貢献してまいります。

キノラボは、将来的に海外での栽培支援も検討しており、ロピアのネットワークを活かして、グローバルな生産・流通モデルの展開を視野に入れています。

株式会社北研代表取締役社長 白田 卓一のコメント

「栽培者が有るから会社がある」。これが、北研の社是です。私たちは、農家さんが継続して栽培を続けていける仕組みをつくるのが何より大切だと考えています。ロピア、OICグループと共に本当においしいシイタケを、お手頃な価格で消費者に届けることで、農家さんの持続的な繁栄につなげていきたいです。北研で製造しているシイタケの種菌は種類が豊富で、多様な生産者や消費者のニーズに応えることができます。ぜひ、色々なシイタケを味わっててください。

■キノラボについて

商 号：株式会社キノラボ
本 社：神奈川県川崎市幸区南幸町2丁目9番地
工場所在地：長野県長野市豊野3544
代表取締役：高木勇輔
事業内容：きのこの栽培及び販売

■OICグループについて

「おいしい」「たのしい」「うれしい」体験を、世界に届ける食品総合流通業を目指すOICグループは、1971年に精肉専門店として創業し、他の生鮮食品も取りそろえるスーパーマーケットに事業を拡大しました。さらに現在では、小売事業の枠を超え、生産・製造事業、貿易・PB・卸事業、外食産業まで展開し、幅広い事業を通じて、「おいしい」「たのしい」「うれしい」体験を世界に届ける「食のテーマパーク」を目指しています。日本国内のみならずアジアで事業を拡大し、2031年度までに売上高2兆円の実現を目標にしています。

商 号：株式会社OICグループ

【プレスリリース】

2025年7月1日
株式会社OICグループ
株式会社キノラボ

本 社：神奈川県川崎市幸区南幸町2丁目9番地

設 立：1971年4月28日

代表取締役：高木勇輔

売 上 高：5,213億円（2025年2月期）

事 業 内 容：食品スーパーマーケット・食肉専門店・外食店舗の運営、肉加工品・パン・惣菜・調味料などの製造・販売、食肉・青果物の生産・販売、生鮮品・加工品食品・酒の輸出入・卸

店 舗 数：食品スーパーマーケット「ロピア」は全国20の都道府県と台湾で計128店舗（2025年7月1日現在）。首都圏を基盤としながらも、大阪や京都などの関西エリア圏、さらに中部エリア圏でも展開し、2023年には九州エリア、東北エリアへ進出。2024年に北海道、2025年5月には新潟県に出店した。